

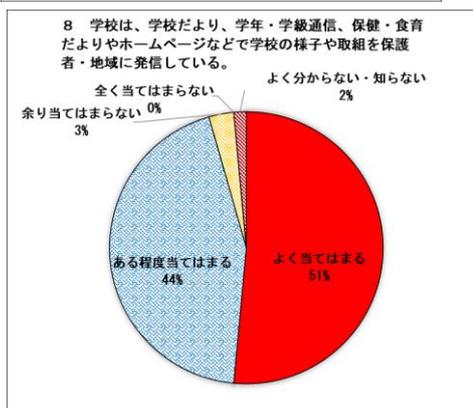
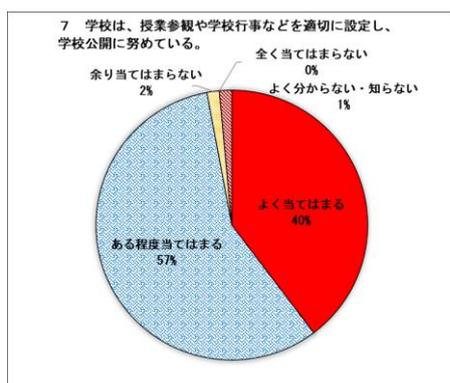
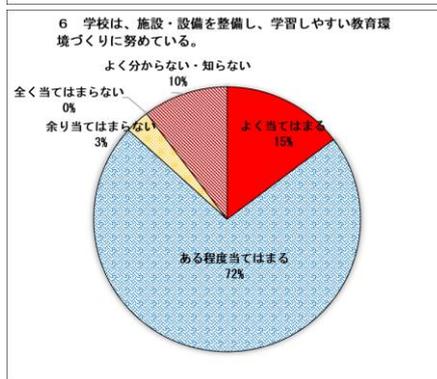
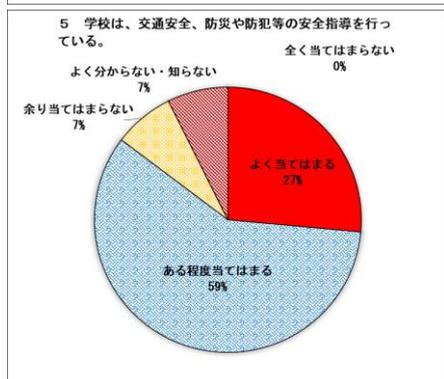
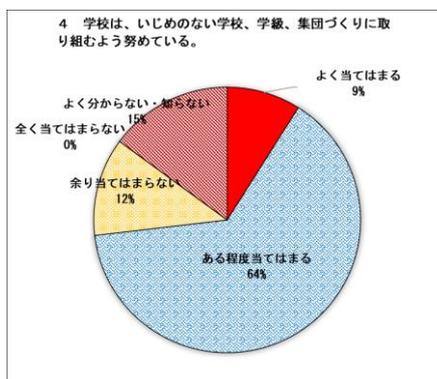
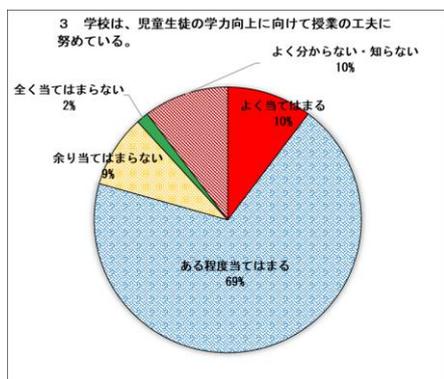
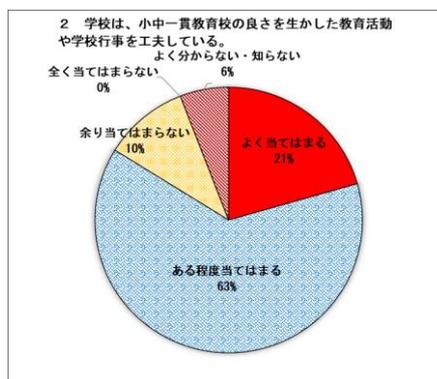
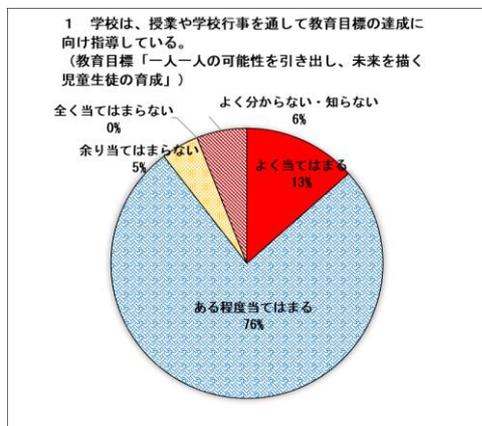
令和7年度第2学期 三和学園の教育活動についてのアンケート 結果と考察

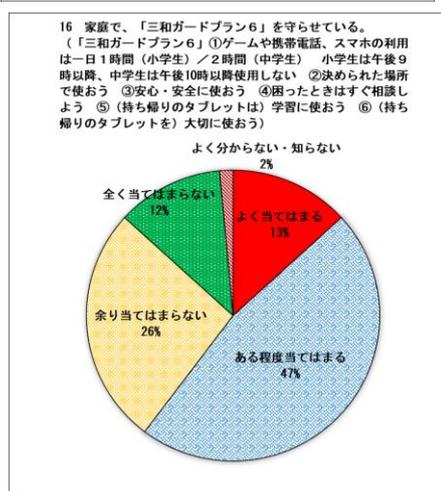
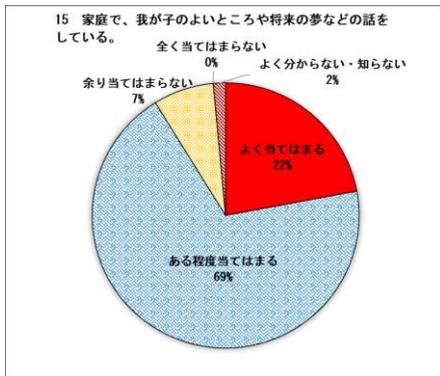
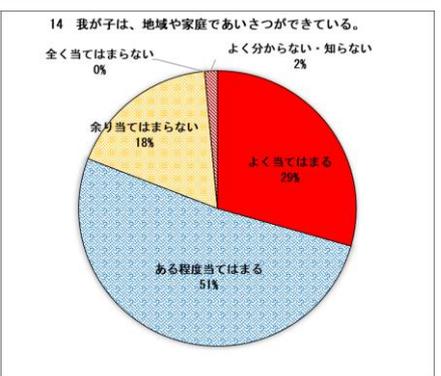
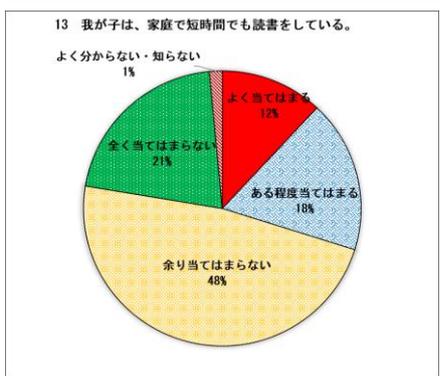
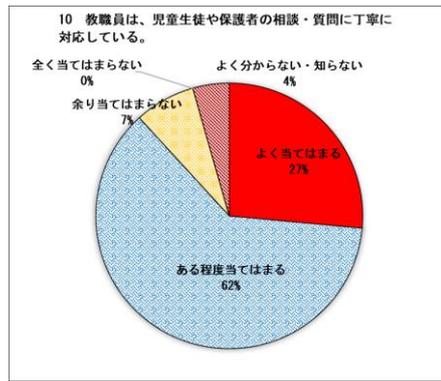
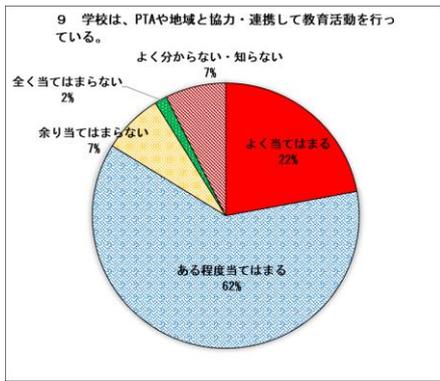
三和学園

1 アンケート結果

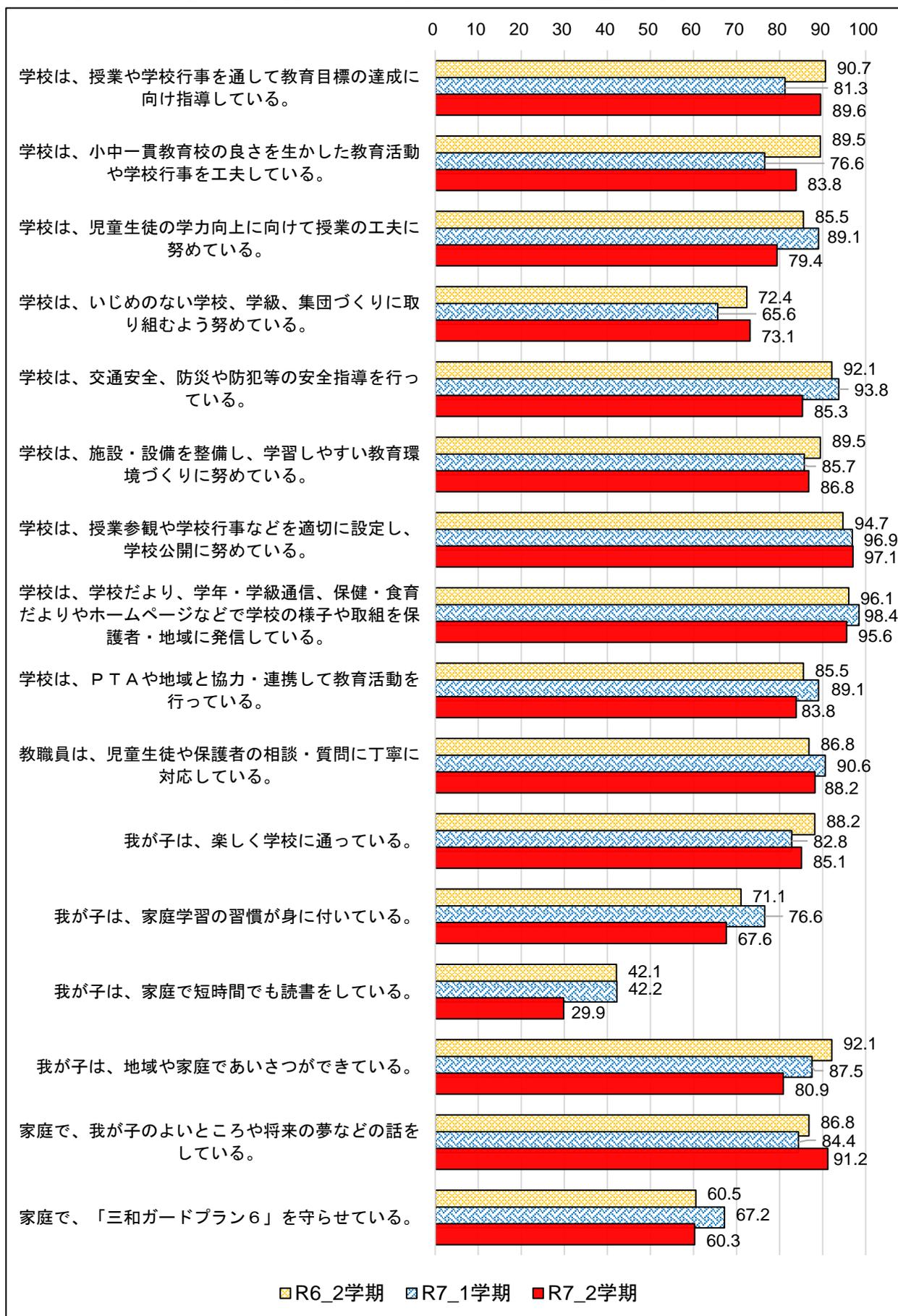
(1) 回答率 66.7% (令和7年度第1学期 62.7%)

(2) グラフ





(3) 「よく当てはまる」「ある程度当てはまる」を合計した割合の経年比較 (%)



2 考察と今後の取組について

(1) 肯定的な評価が高かった項目・伸びた項目

ア 学校は、授業や学校行事を通して、教育目標の達成に向け指導している。

→ 2学期は、人権学習参観や体育祭、文化祭といった大きな学校行事があり、学校から保護者の皆様に向けて発信する機会が多くありました。今後も、「一人一人の可能性を引き出し、未来を描く児童生徒の育成」に努めていきます。

イ 学校は、小中一貫教育校の良さを生かした教育活動や学校行事を工夫している。

→ ランチルーム交流給食や体育祭など、1学期以上に多くの取組を行うことができた2学期でした。今後も小中一貫教育の良さを生かした教育活動や学校行事を更に工夫していきたいと思えます。

ウ 学校は、いじめのない学校、学級、集団づくりに取り組むよう努めている。

→ 一人一人の児童生徒が大切にされる、安心安全な学校づくりは、学習の基盤として大変重要なことです。今後も児童生徒の変化を見逃さないように努めるとともに、児童生徒が互いの良さを認め合い、尊重し合う学校、学級、集団づくりを進めていきます。

エ 家庭で、我が子のよいところや将来の夢などの話をしている。

→ 全学年にわたって「よく当てはまる」「ある程度当てはまる」という回答が多かったです。児童生徒アンケートでも、顕著に増えていました。

(2) 肯定的な評価が低かった項目・今後更に伸ばしたい項目

ア 我が子は、家庭で短時間でも読書をしている。

→ 前回調査から12.3ポイント低下していました。国立青少年教育振興機構「子どもの頃の読書活動の効果に関する調査研究」（令和3年3月）によると、読書には、「語彙力や文章理解力といった認知能力の向上」「心理的健康の改善」「寿命の延長」という効果があるとのこと。また、同機構の「子どもの生活力に関する実態調査」（平成27年5月）では、「読書をするのが多い子どもほど、コミュニケーションスキルや礼儀・マナースキルが高い傾向にある。」という効果も報告されています。学力向上への効果だけでなく、コミュニケーション能力向上や健康的な生活促進につながるという面からも読書を推奨していきたいです。

イ 学校は、児童生徒の学力向上に向けて授業の工夫に努めている。

→ 授業の工夫についての評価が期待に届いていないことを真摯に受け止め、更に工夫を重ね、児童の学力向上に努めていきます。

ウ 我が子は、家庭学習の習慣が身に付いている。

→ 三和学園では、宿題や自主学習を通じて学習習慣付けを進めています。今年度の児童生徒アンケート「毎日、家で宿題や勉強をしている。」という問いに対して、88.9%の児童生徒が肯定的な回答をしており、保護者の評価と児童生徒の自己評価に差があることを確認しました。児童生徒は毎日宿題や勉強を行っていると感じていますが、保護者の皆様はより高いレベルを求めている可能性があります。学校としては、この認識の差を埋めるため、家庭学習の意義や方法を児童生徒・保護者双方に分かりやすく伝え、習慣の定着を支援していきます。

3 ご意見やご感想についての回答

(1) 小学部に対するご意見やご感想についての回答

ア 「2年連続で水泳授業が寒い時期に行われていて、暖かい季節にできればよいと思っています。他校は良い時期なのに、三和小はなぜこの時期なのか疑問です。」

→ 福知山市教育委員会の計画に基づいて各校に時期が割り当てられているため、三和学園は、令和6年度が9月から10月、令和7年度が10月から11月となっていました。令和8年度は、5月から6月にかけての計画となっています。

イ 「11月の三和マラソンについては、インフルエンザが流行し、雨天での開催に疑問を感じました。実際に風邪をひいた児童もいたと聞いており、学校の事情は理解しつつも、子どもたちの健康を最優先に考えた判断だったのか、疑問が残りました。」

→ 当日及び延期した場合の天気予報等に基づき総合的に判断しましたが、結果としてご心配をおかけした点は受け止めています。今後は、感染症の流行状況や天候をより慎重に考慮し、

児童の健康と安全を第一にした運営ができるよう改善を図ります。

ウ 「三和マラソンについて、外のコースを走らせてほしいと思います。PTA や地域と協力し、安全を確保して道路を走らせてやってほしいです。」

→ 外部コースでの実施は、地域の方に応援していただける良さがある一方、多くの安全管理要員が必要となり、現在の職員体制では十分な配置が難しい状況にあります。よしんば PTA や地域の方に協力いただいたとしても、児童の命に関わるような重大事態が起きた時、職員でない方に対応いただくわけにはいきません。安全管理という点を第一に考え、グラウンドの周回コースに変更した次第です。どうかご理解をお願いいたします。

エ 「三和は、自然に恵まれた環境ですが、外遊びの時間が少ないと感じています。特に低学年では、体を動かす時間を増やすことで気持ちの切り替えができ、授業への集中にもつながるのではないかと思います。」

→ 特に低学年において、適度な運動が学習への集中や生活のリズムづくりにつながる点は、重要だと考えています。学習活動とのバランスを踏まえながら、外遊びや運動の時間を確保する工夫について、今後も検討していきます。

(2) 中学部に対するご意見やご感想についての回答

ア 「『三和中学校前』交差点の京都方面行きは、冬の通学時間帯に朝日が重なり信号が見えませんが、いつも先生が立たれています。12月上旬、子どもが横断しようとしていたところに、車が信号無視で行ってしまいました。社用車だったので、すぐに会社に苦情を入れました。先生が子どもに声をかけてくださらなかったら、大きな事故になっていたと思います。見ていてゾッとしました。ありがとうございました。」

→ 大事に至らなくて本当に良かったです。大変怖い思いをしたと担当職員が言っていました。今後も児童生徒の安全な登下校に気を付けて参ります。会社へのご連絡ありがとうございました。その日のうちに該当の会社からお詫びがありました。

(3) 学園全体に対するご意見やご感想についての回答

ア 「学校・保護者・地域が同じ方向を向いて子どもたちを支えるには、継続的な話し合いが大切だと思います。6月のPTA 人権講演会での佛教大学・原先生のお話は大変よく、もっと多くの保護者と共有したい内容でした。学校運営協議会とPTA が連携し、合同で講演会を開催するなど、新たな取組があれば参加も広がるのではないかと思います。」

→ 学校・保護者・地域がつながりをもち、共通理解を深めていくことは重要だと考えています。ご提案を参考に、より多くの方が参加しやすい取組について検討していきたいと思えます。

最後になりましたが、皆様からの貴重なご意見は、私たちにとって大変ありがたく、今後の学園運営の参考にいたします。お子様の健やかな成長を願い、皆様と共によりよい教育環境をつくっていきたくと考えています。引き続きご理解とご支援をお願いいたします。